

活動報告

団体名	被災地医療支援チームそら
活動名	地元負担軽減のための災害ボランティアの現地派遣調整及び活動時の看護支援
活動期間	2018年8月～2018年10月
活動の成果	<p>〈活動前と後の変化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア活動の拠点整備により、災害ボランティアの機動性が高まりました。また、活動場所と近接していることから、体調等のチェックが容易に行うことができました。 ・また、現地被災者との直接話をする機会も得て、より精度の高いニーズを把握することができました。 <p>〈活動で得られた成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンターから支え合いセンターの移行期に、継続的に入ることができたため、活動継続の調整を置こうことができました、それにより、コミュニティ再生及び避難者の体調管理といった活動に移行していくことができました。 ・発災からの時間経過に伴う、ニーズの変化を把握することができ、効果的な支援活動を行うことができました。 <p>〈活動を行ってみたいの結果、課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点整備により、現地に密着することで、より深く関わるることができた一方で、ニーズ対応のため、活動期間を延長しました。 ・遠方からの長期支援は、交通費の負担と災害ボランティアの方々の移動による身体的負担が大きいことから、現地ボランティアとの連携による、効果的な活動継続が必要と感じました。
寄付者へのメッセージ	<p>助成をいただいたおかげで、拠点整備ができ、現地の要請及び災害ボランティアの皆さんのフォローに柔軟に対応することができました。それにより、復旧から復興への活動支援の糸口をつかむことができました。ありがとうございました。</p>